

資料4

市政への「市民参加」に関するアンケート結果

1 実施の時期

平成22年1月～2月

2 実施の方法

公共施設の窓口記入方式

3 回答件数

配布場所	件数(件)
本庁他庁舎窓口	32
地区公民館	830
わくわくセンター 社協ボランティアセンター	83
イベント会場	189
計	1,134

4 質問項目数

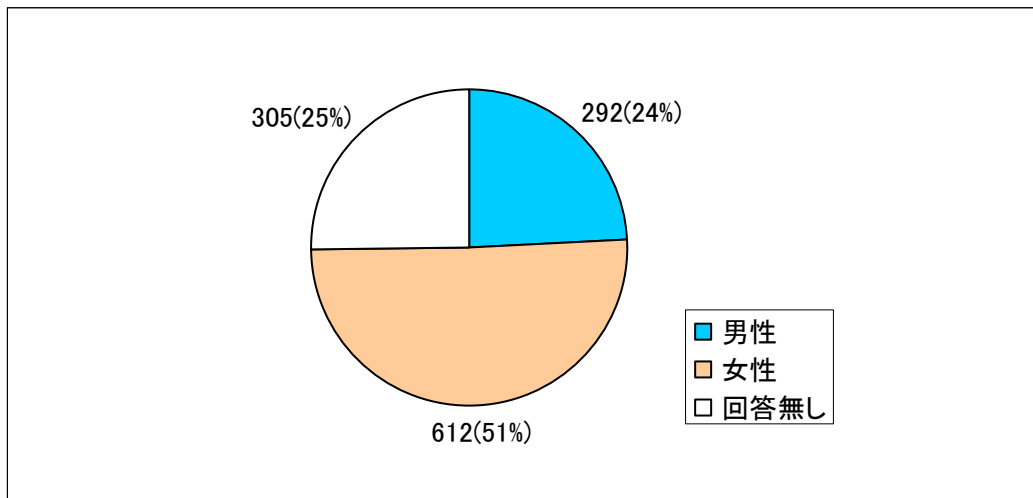
9問11項目

1. あなたご自身について教えてください。(問 1) <回答者の属性について>

<性別>

○「女性」が51%、「男性」が24%。「回答なし」が25%でした。

図 1 男女比

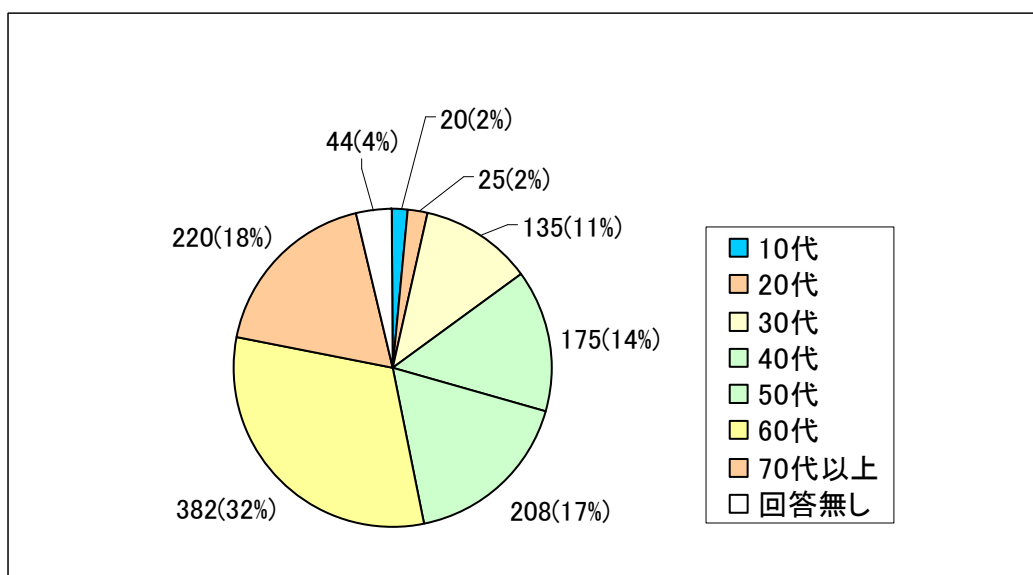


<年齢>

○「60代」が最も多く、32%。以下、「70代」「50代」が続きます。

○50歳以上が全体の2/3を占めています。

図 2 年齢比



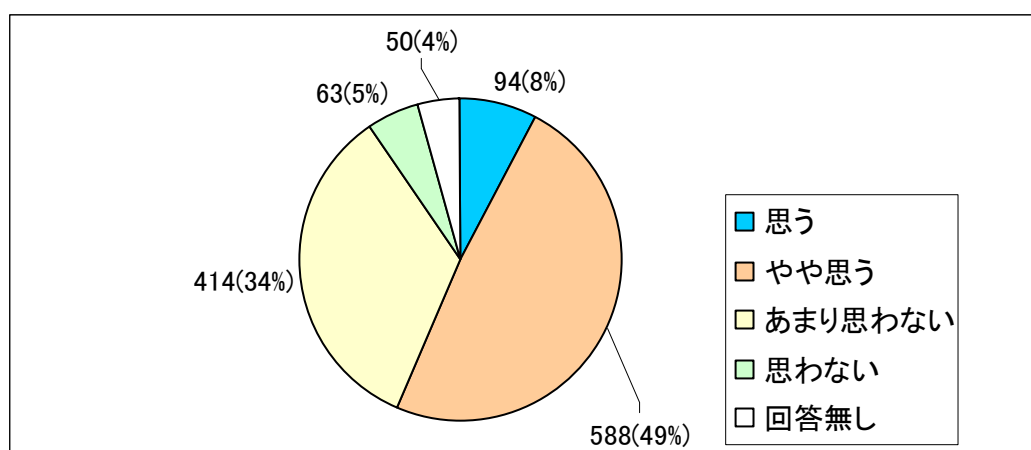
2. 安城市では、「市民の声」が十分市政に反映されていると思いますか？(問 2)

○「やや思う」と答えた参加者が最も多く、全体の 49%という結果でした。

○「思う」「やや思う」を足した肯定的な回答が 57%となり、どちらかと言えば「反映されている」という評価であることがわかります。

○ただし「あまり思わない」「思わない」を足した否定的な回答も 39%ありました。

図 3 市民の声の反映



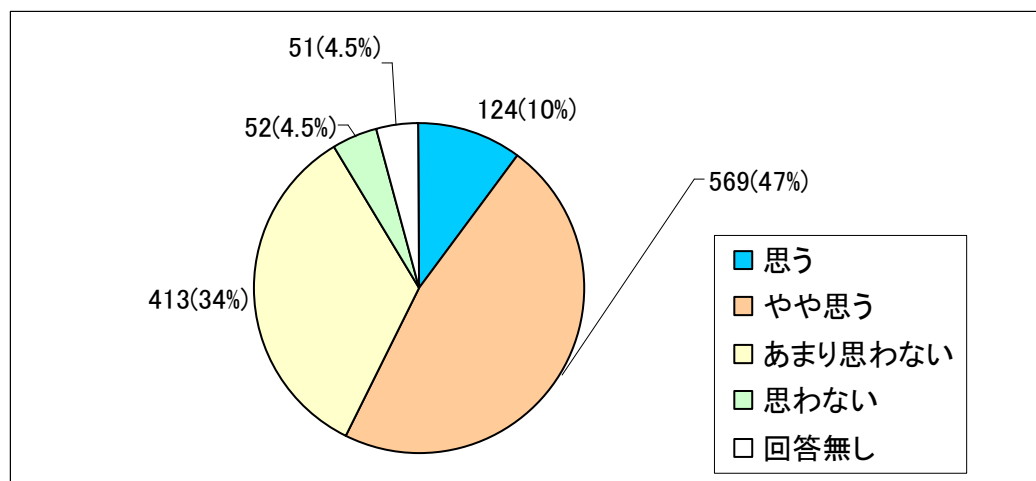
**3. 安城市では、「市民参加の機会」が十分に用意されていると思いますか？
(問 3)**

○「やや思う」と答えた参加者が最も多く 47%でした。

○「思う」「やや思う」を足した肯定的な回答が 57%となり、どちらかと言えば「用意されている」という評価であることがわかります。

○ただし問 2 と同様に、「あまり思わない」「思わない」を足した否定的な回答も 39% ありました。

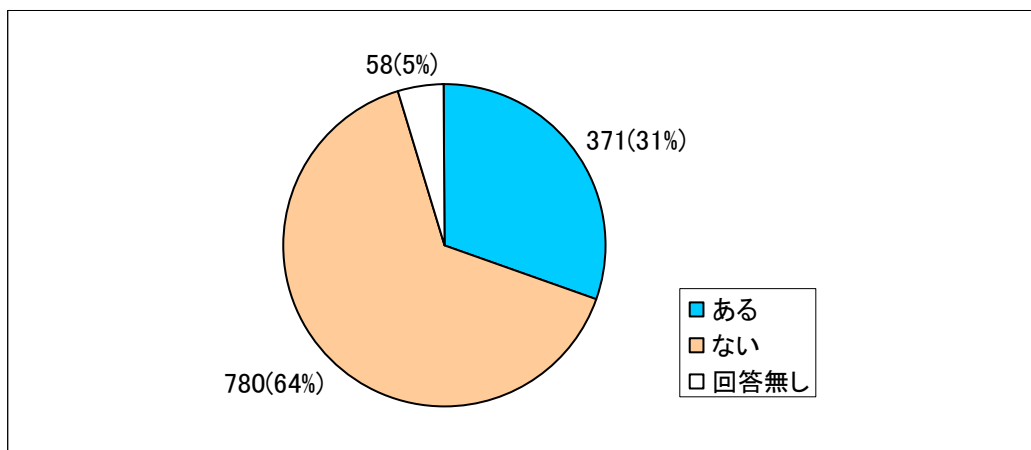
図 4 市民参加の機会



**4. あなたは、これまでに安城市の「市民参加」に関わったことがありますか？
（問 4）**

○「ない」と答えた参加者が 64%。「ある」と答えた参加者は 31%でした。

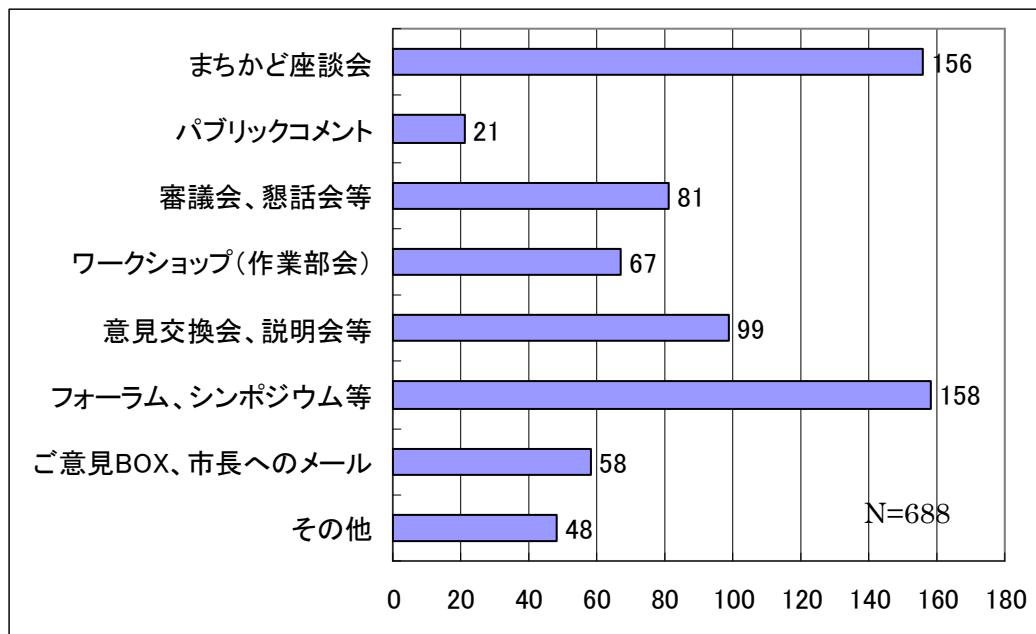
図 5 市民参加の有無



**5. 「ある」と答えた方、関わったもの全てにチェックを入れてください(問 5)
(複数回答可)**

○「まちかど座談会」、「フォーラム、シンポジウム等」の回答が多くみられました。続いて、「意見交換会、説明会等」、「審議会、懇話会等」が多いことがわかります。

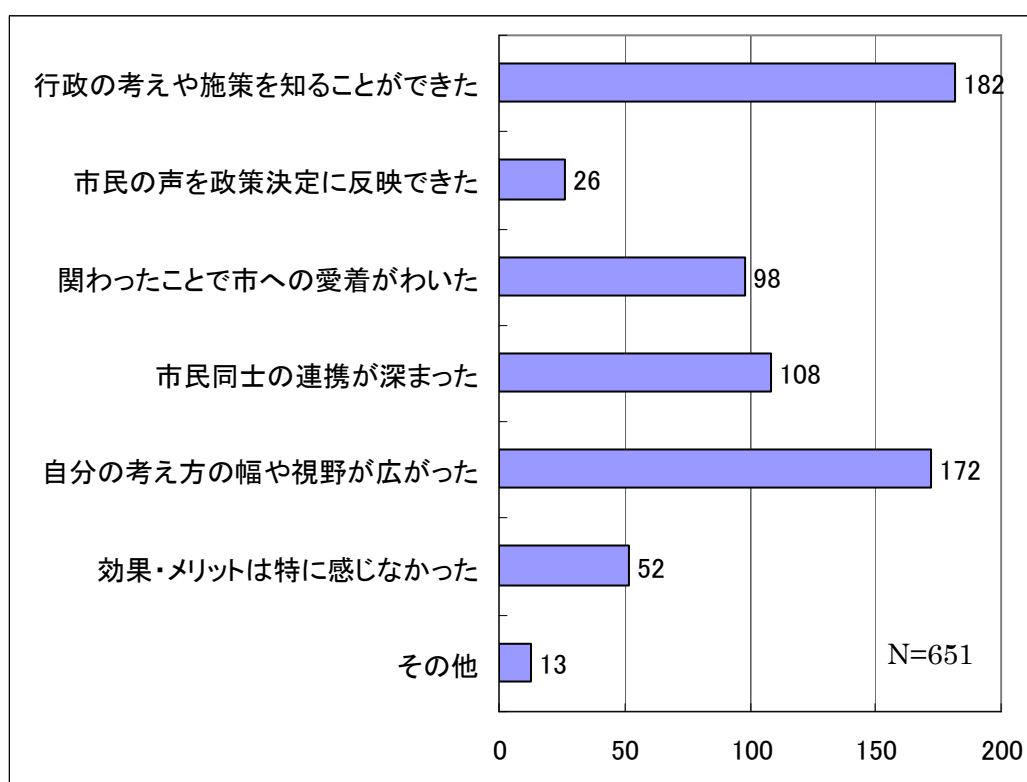
図 6 関わった事のある「市民参加」



6. 「市民参加」に関わって感じた効果・メリットは何ですか？（問 5-①）
（複数回答可）

○「行政の考えや施策を知ることができた」、「自分の考え方の幅や視野が広がった」の回答が多い結果でした。一方、「市民の声を政策決定に反映できた」の回答が少ないのが目立ちます。

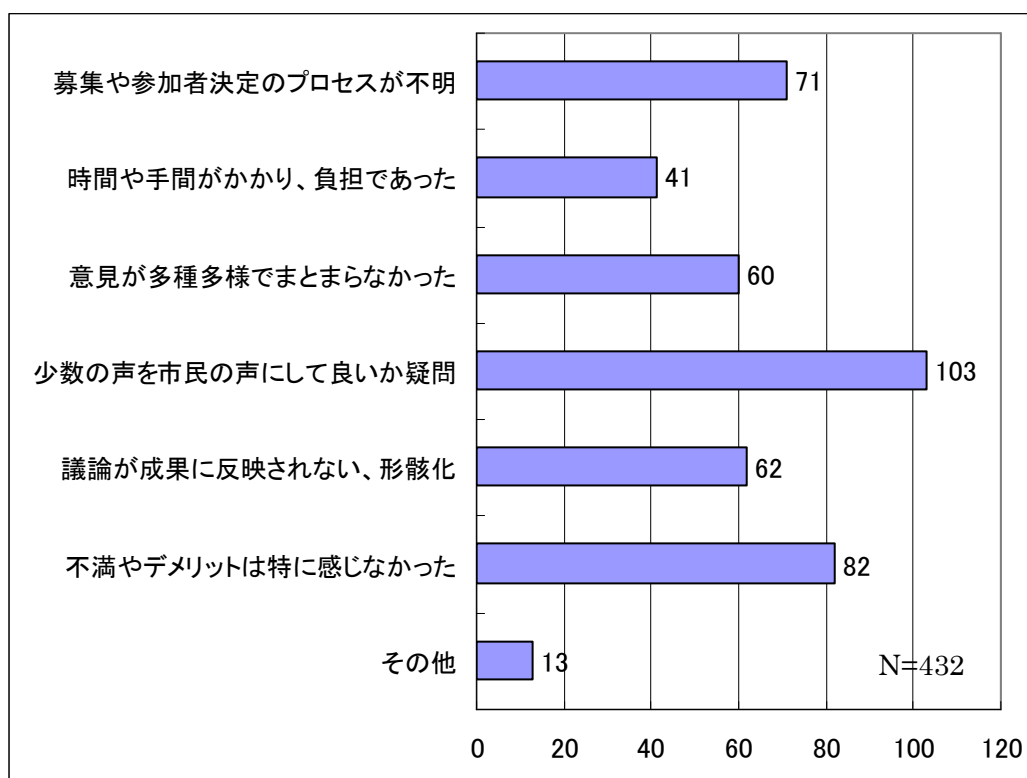
図 7 「市民参加」の効果・メリット



7. 「市民参加」に関わって感じた問題点・デメリットは何ですか？(問 5-②)
(複数回答可)

○「少数の声を市民の声として良いか疑問」という回答が最も多く、「不満やデメリットは特に感じなかった」という回答より多い結果となりました。

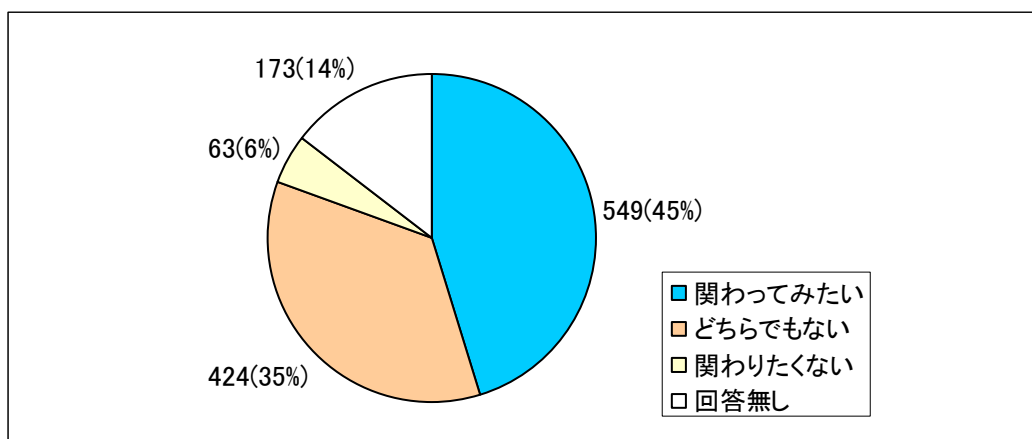
図 8 「市民参加」の問題点・デメリット



8. あなたは、今後、安城市への「市民参加の機会」があれば関わってみたいですか？（問 6）

○「関わってみたい」と答えた参加者が45%と最も多い結果でした。
「どちらでもない」が35%、「関わりたくない」が6%でした。

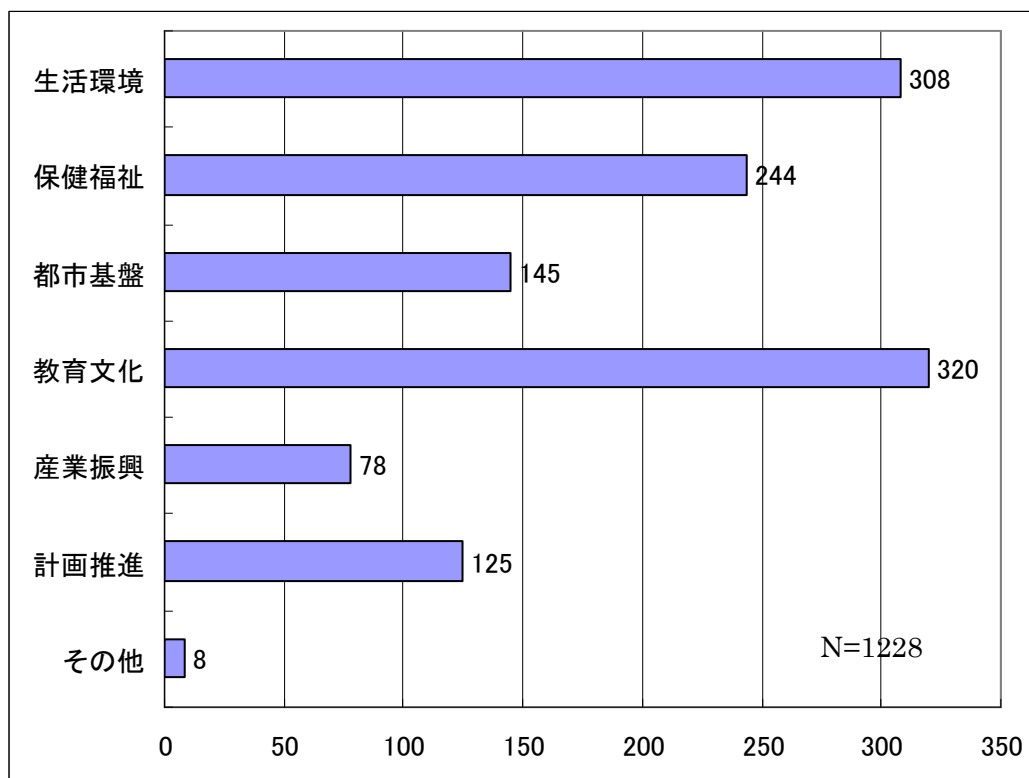
図 9 「市民参加」への意欲



9. 「関わってみたい」と答えた方、どのような分野で「市民参加」してみたいですか？（問7）

○「教育文化」が最も多い回答でした。「生活環境」、「保健福祉」がそれに続いています。

図 10 「市民参加」してみたい分野



**10. 「どちらでもない」「関わりたくない」と答えた方、
よろしければその理由をお教え下さい。（問 8）**

○「興味がない」「意義を感じられない」という市民参加そのものを否定する意見もありましたが、参加者に関わる意志があっても自身の都合により「関われない」等、優先順位としては低いという旨の回答が目立ちました。

以下に回答の一部を示します。

- ・ 参加者個人の用事により忙しいため参加できない。
- ・ 参加するだけの時間に余裕が無く、生活をしていくだけでいっぱい。
- ・ 意見を言っても聞き置くだけのことが多いように感じる。
- ・ テーマに関して興味があるものがない。
- ・ 自分の生活だけでそこまで余裕がまわらない。けれども考えていかなくても何も変わらないと思う。今のところは関わってみたいが現状は難しい。
- ・ 市民参加についての理解がきちんとできていない。
- ・ 仕事、趣味、子育てなどでじっくり関わる時間がとてもない。
- ・ 年齢がきているので、積極的に市政に参加することが難しい。
- ・ 自分が興味を持てるものがあれば関わりたいと思うが、継続して行動できるか分からない。
- ・ 市民参加といっても、何かの役等をやっていてつながりのある方はどんどん参加されているのかもしれませんが、まったく住んでいるだけの市民には何が行われているのか見えない。広報あんじょうの届かない人も居るし、市の施設には用事が無ければ行かないので、何の情報も届かない。結局、上の方の人たち（決まった人、同じ人）だけで決められているように感じる。

11. これから安城市では、「市民参加」の具体的な方法やルールを定める「市民参加条例」の検討を始めます。あなたのご意見を自由にお書き下さい。（問 9）

○市民参加のPR方法の検討、市民意見を徴収する仕組・開催日時の改善など、もっと市民参加をしやすい環境を整えるべきという意見が目立ちました。また市民参加が一部の人だけの集まりになっているという指摘も挙げられています。

以下に回答の一部を示します。

- ・市の事業の見直し。
- ・市民(若い人)の参加がすくない。一般公募をして役職の代表だけでなく、みんなでがんばりたいと思う。
- ・行政と市民が直接顔を合わせて意見を言える街角座談会などがいいが地域によっては年1回しかないのもう少し回数を増やして行きたい。
- ・市民参加について、もっともっと市民に対してPRすることが必要である。
- ・参加者が一部の人に限らず幅広く市民から募ることが必要であると考えます。現状では、知識人や話がうまい人など一部の人に偏っているような気がします。地味な人でも素晴らしいアイデア意見を持っている人がいることを忘れないようにしてほしい。
- ・ボランティアコーディネーターとボランティア育成による市民参加の促進。
- ・審議会、懇話会等の参加者以外の多くの市民の声もアンケート等で吸い上げる仕組みを希望します。
- ・エコサイクルシティ実現は非常に良いことと思っています。サイクリングロードサイクルのための公園等更に拡充を望みます。
- ・目的を明確にしたイベントを行う。（環境のためにゴミ拾い、健康のためにグランドゴルフ、街を綺麗にする為に花壇作りなど）
- ・60才を過ぎた方を中心に得意な分野を生かして、ボランティアとしてゴミ拾い、街路樹の草取り、子育てサークルの援助、相談活動などを行えるとよい。市がネットワーク登録などを行っていくコミュニティー（公民館的なNPO）を中心に市民が参加した意識を高めていくことに繋がり、安城市の環境が良くなっていくのではないかと思います。